

2017-18年度

国際ロータリー第2690地区 第3・第4・第5グループ合同

Intercity Meeting Program

「ロータリー財団100周年を迎えて」

と き：2018年2月18日(日)

ところ：島根県立男女共同参画センターあすてらす

サンレディー大田（懇親会）

ホストクラブ	大田ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	江津ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	浜田ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	益田ロータリークラブ
コ・ホストクラブ	益田西ロータリークラブ



ロータリーの目的 (Object of Rotary)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること；

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

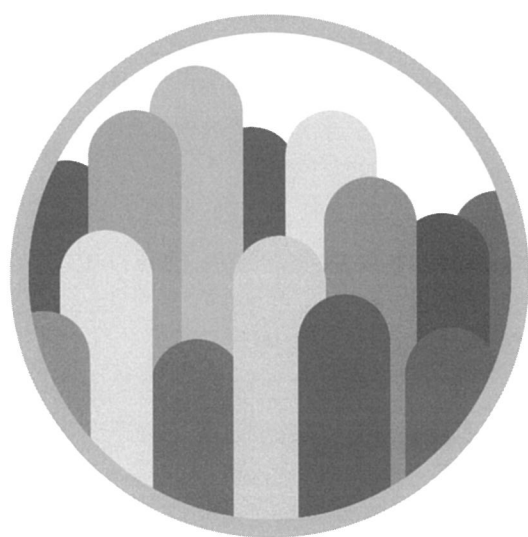
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

2017－18年度 国際ロータリーテーマ



ロータリー：
変化をもたらす



ご挨拶



プロフィール

国際ロータリー第2690地区
2017-18年度地区ガバナー

いけ がみ ただし
池 上 正

生年月日 1940年6月1日生
所属RC 倉敷南ロータリークラブ
職業分類 技術研究

略 歴	1964年3月	東京大学工学部 卒業
	1969年3月	東京大学大学院工学系研究科博士課程 修了（工学博士）
	1969年4月	旭化成工業株式会社（現 旭化成(株)）入社
	1999年7月	取締役水島支社長（現 水島製造所長）
	2001年7月	常務取締役研究開発本部本部長
	2008年1月	公益社団法人山陽技術振興会 副会長 人材育成室室長
	2016年5月	公益社団法人山陽技術振興会 会長 現在に至る

公 職	2002年4月-2004年3月	（社）日本化学会副会長
	2002年7月-2004年6月	（社）化学技術戦略推進機構連携推進委員会委員長
	2004年4月-2008年3月	中央教育審議会専門委員（初等中等教育分科会）

ロータリー歴	1999年10月	倉敷南ロータリークラブ入会
	2001年6月	倉敷南ロータリークラブ退会
	2005年7月	倉敷南ロータリークラブ再入会
	2013-14年度	倉敷南ロータリークラブ第53代会長
	2014-15年度	第7グループガバナー補佐

大口寄付者（レベル1）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ポール・ハリス・ソサエティ会員
ベネファクター
米山功労者



「第3、第4、第5グループ合同Intercity Meetingをお祝い申し上げます」

合同Intercity Meetingが3人のガバナー補佐との協力のもと、ホストクラブの大田ロータリークラブ齊藤寛会長、大澤優彦IM実行委員長を中心に準備、ご尽力により本日の開催となりました。普段は交流の少ないグループを超えての皆さんの協力の成果を楽しみにしています。

昨年の7月から11月まで地区クラブのガバナー公式訪問を行いました。各クラブとも丁重に迎えていただきました。2690地区各クラブはそれぞれ特徴あるクラブ運営を行っています。つまりクラブの数だけロータリーがあると感じました。

イアンH.S.ライズリー会長も言っていましたが「国際協議会では一向に変わらなかった、変わったのは一年後」と。私も同様にクラブ公式訪問によって徐々に変わりつつありように感じています。特色ある各クラブに接し如何にロータリーが多様でクラブが歴史と伝統に基づく活動を行っておられるかを知り、認識を新たにしています。いろいろと学ばせていただき感謝しております。

今年度の会長テーマ“Rotary: Making a Difference”についていくつかのクラブで議論がありました。鳥居パストガバナーは適切な日本語訳はないとコメントしていますが「変化とは今までとは違った活動」と捉えるというのが集約された意見でした。

特に戦略計画委員会と会員増強についてクラブの方針・計画を議論しました。戦略改革委員会についてはロータリーの友11月号ではアンケートの結果が集約されています。日本の2,270クラブの内30%が設置していると回答していますが、我が2690地区では設置する予定も含めて約10クラブにすぎません。この地区では平田RCと大社RCが活動に入っています。

会員増強については2840地区田中ガバナーのプレゼンにインパクトを受けたクラブが数多く見られました。会員増強は日本のロータリーについて喫緊の課題です。今年度は各クラブを通して会員一人一人にポスターをお渡しし、ロータリーの公共イメージ向上と会員増強に役立てていただきました。

新入会の会員の皆さんにはガバナーから入会記念のバナーをお渡ししてきましたが、11月末で130人となりました。第3、第4、第5グループでは26名の新しい会員を迎えました。今年度は2690地区で3,100名を超えるよう、皆さまの一層のご協力をお願い致します。

地区としての公共イメージ向上活動として、地区大会の様子を倉敷ケーブルTV(KCT)で収録し、2690地区内の全ケーブルTVで放映されました。今年度の地区目標であるポリオ撲滅活動が大きく取り上げられています。

IMを契機に第3、第4、第5グループのロータリークラブの活動が今後一層充実し活発になるよう祈念しております。



IM主催者挨拶



国際ロータリー第2690地区
第5グループガバナー補佐

波多野 諭

皆様こんにちは、ただ今から2017～18年度国際ロータリー第2690地区、第3・第4・第5グループ合同のインターシティミーティングIMを開催するにあたりまして、主催者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

皆様をお迎えしておりますこの大田の地は、世界遺産「石見銀山」が登録からちょうど10年を迎えて、日本各地の世界遺産所在地の方々による世界遺産サミット、教育関係者が参集する世界遺産学習サミット、また市民の支援で作り上げたオペラ「石見銀山」の上演など、様々なイベントが繰り広げられました。世界遺産「石見銀山」を有する大田の地に、池上正ガバナー、松本祐二パストガバナーのご臨席を賜り、県内15クラブから多数のロータリアンの皆様方にご参会頂き、IMを開催できますことを、主催者と致しまして心から感謝を申し上げる次第でございます。

本年度のIMは、第5グループが承り、ホストクラブを大田ロータリークラブにお願い申し上げ、第3グループの中村ガバナー補佐、第4グループの岩永ガバナー補佐の方々にも、ご理解、ご協力を頂く中で、本日のIMを迎えております。

さて、今回のIMのテーマは「ロータリー財団100周年を迎えて」として、世界各地でより平和な世界を築くために支援をしている財団の六つの事業 平和の推進・疾病との闘い・水と衛生・母子の健康・教育の支援・地域経済の発展の中で、二つのことを紹介いたします。まずは年間平均750万ドルを拠出して35万人を支援したロータリー奨学金についてであり、県内15クラブから80名近い奨学生を世界各地の大学へ留学させた実績の中から、1990～91年度ハーバード大学へ留学、現在は慶応義塾大学教授としてアメリカ社会学の分野でご活躍の渡辺靖先生に、ロータリー奨学生としての体験を踏まえての「新しいアメリカは？」と題して、ご講演を戴きます。また、松本祐二パストガバナーには、財団が今、最も重点を置き支援しているポリオ撲滅について、最新の状況についてご講演を戴きます。

ご参会ロータリアン各位におかれましては、本日のIMにおいて、ロータリー財団をより深く認識していただくとともに、財団が拠出する地区補助金を活用し、我々が主体となって地域におけるロータリー活動をさらに展開されることを望んでおります。

終わりにりましたが、ホストクラブ大田クラブ齊藤会長をはじめ、大澤実行委員長ほか関係各位に厚く御礼を申し上げまして挨拶とさせていただきます。



歓迎の挨拶



大田ロータリークラブ
会 長

齊 藤 寛

秀峰三瓶山を仰ぎ、埋没林や鳴り砂をはじめとする大いなる自然の遺産を有し、歴史に裏打ちされた世界遺産、石見銀山遺跡とその文化的景観を有するこの大田市によろこお越しをいただきました。心から歓迎致します。

本日は参加いただきました国際ロータリー2690地区第3、第4、第5グループのロータリアンの皆様にとって本日のIMが実り多く、有意義な一日となるよう大田ロータリークラブ会員一同、心を込めておもてなしを致します。会議会場と懇親会会場の移動につきましてご不便をお掛け致しますが、速やかな御移動をよろしくお願い申し上げます。本日はご登録参加を頂きまして誠にありがとうございました。



2017-18年度
国際ロータリー第2690地区第3・第4・第5グループ合同

Intercity Meeting プログラム

テーマ 『ロータリー財団創立100周年を迎えて』

12:15~13:00 登録受付

■式典の部 (島根県立男女共同参画センターあすてらす)

13:00~13:30 開会セレモニー

開会点鐘	第5グループガバナー補佐	波多野 諭
開会宣言	第4グループガバナー補佐	岩 永 邦 夫
国歌並びにロータリーソング「奉仕の理想」斉唱		
	ソングリーダー	宮 本 一 成
ガバナーおよび役員紹介	第5グループガバナー補佐	波多野 諭
参加クラブ紹介	第3グループガバナー補佐	中 村 寿 夫
主催者挨拶	第5グループガバナー補佐	波多野 諭
歓迎の挨拶	ホストクラブ会長	齊 藤 寛
ガバナー挨拶	RI第2690地区ガバナー	池 上 正

13:30~15:00 セッション

趣旨説明	第5グループガバナー補佐	波多野 諭
主 題	『ロータリー財団創立100周年を迎えて』	

セッション①

講 演 「新しいアメリカは？」

慶應義塾大学環境情報学部 教授 渡 辺 靖 氏
(1990~91年度 ロータリー財団奨学生)

15:00~15:10 休 憩



15:10~15:40 セッション②

「ロータリー財団の今、ポリオ撲滅に向けて」

RI第2690地区パストガバナー 松本祐二氏

15:40~16:00 閉会セレモニー

ガバナー 講評	RI第2690地区ガバナー	池上 正
ガバナー ノミニー 紹介	第4グループガバナー補佐	岩永 邦夫
ガバナー ノミニー 挨拶	RI第2690地区ガバナーノミニー	古瀬 俱之
次期ガバナー補佐紹介	第4グループガバナー補佐	岩永 邦夫
次期ガバナー補佐挨拶	次期第3グループガバナー補佐	古志 勝俊
	次期第4グループガバナー補佐	土井豆 勝磨
	次期第5グループガバナー補佐	砂田 忠
閉会宣言	第3グループガバナー補佐	中村 寿夫
閉会点鐘	第5グループガバナー補佐	波多野 諭

16:00~16:20 休憩・会場移動

■ 懇親会の部 (サンレディー大田)

16:20~17:40 懇親会

開宴挨拶	IM実行委員長	大澤 優彦
パストガバナー挨拶/乾杯	パストガバナー	松本 祐二
食事歓談		
アトラクション		
閉宴挨拶	IM副実行委員長	谷本 隆臣
ロータリーソング 「手に手つないで」		
	ソングリーダー	宮本 一成



セッション①

講演 「新しいアメリカは？」



慶應義塾大学
環境情報学部教授

渡 辺 靖 氏

- 経 歴
- ・北海道札幌市生まれ
 - ・1990年 上智大学外国語学部卒
 - ・1990～91年 大田RCからロータリー財団奨学生としてハーバード大学大学院へ留学
 - ・1992年 ハーバード大学大学院修士号
 - ・1997年 ハーバード大学大学院博士号、Ph.D.
 - ・ケンブリッジ大学ポストドク研究員
 - ・オクスフォード大学シニア・アソシエート
 - ・1999年 慶應義塾大学SFC助教授
 - ・2003年 ハーバード大学国際問題研究所アソシエート
 - ・2004年 ハーバード大学へ提出した博士論文をもとにした処女作『アフター・アメリカ ポストニアンの軌跡と＜文化の政治学＞』でサントリー学芸賞、アメリカ学会清水博賞、義塾賞、日本学術振興会賞、日本学士院学術奨励賞受賞など受賞。
 - ・2005年 慶應義塾大学SFC教授
 - ・ケンブリッジ大学フェロー
 - ・パリ政治学院客員教授
 - ・北京大学訪問学者
 - ・国際文化会館評議員、読売新聞読書委員、朝日新聞書評委員、NHK国際放送番組審議会委員長、文化庁文化審議会委員、国際交流基金諮問委員、外務省有識者委員、『外交』編集委員、アメリカ学会常務理事、三省堂高校英語教科書『CROWN』編集委員
 - ・現代アメリカやパブリック・ディプロマシーに関する第一人者でメディアに頻出。
 - ・書評に定評があり、読売新聞と朝日新聞で書評委員を歴任。日本経済新聞や産経新聞、東京新聞などにも寄稿。
 - ・近年、カルチュラル・セキュリティ (Cultural Security) という概念を提唱しており国際的に注目されている。



セッション②

講演

「ロータリー財団の今、 ポリオ撲滅に向けて」



RI第2690地区
パストガバナー

まつ もと ゆう じ
松本 祐二 氏

生年月日 1952 (S27) 年8月26日

職業分類 内科医

事業所 松本医院

ロータリー歴	1986年 5 月	益田西ロータリークラブ入会
	1991年 6 月	益田西ロータリークラブ退会
	1993年 5 月	益田西ロータリークラブ再入会
	1997-98年度	第21代クラブ会長
	2001-02年度	第5ブロックガバナー補佐
	2014-15年度	地区ガバナー
	2016年 2 月	第2640地区大会 RI会長代理
	2015-18年度	ポリオ撲滅ゾーンコーディネーター (第3ゾーン) (END POLIO NOW ZONE COORDINATOR Zone 3)
	2018年 6 月	トロント国際大会SAA (予定)

ベネファクター

ロータリー財団大口寄付者 (レベル2)

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)

第12回 米山功労者 (メジャードナー)

学歴	1979年	昭和大学医学部卒業
職歴	1980年	昭和大学医学部付属藤が丘病院内科
	1982年	益田市にて松本医院を継承 (八代目)、現在に至る

そ の 他	公益社団法人益田市医師会 副会長
	日本労働衛生コンサルタント会島根県支部 副部会長
	島根県医師会広報・編集委員会 委員
	島根大学医学部 臨床教授
	NPO法人島根糖尿病療養支援機構 顧問
	一般社団法人日本尊厳死協会中国地方支部 理事
	島根県糖尿病対策推進協議会 委員
	島根県がん対策推進協議会 委員



来賓・役員紹介 (敬称略)

国際ロータリー第2690地区ガバナー

池 上 正

＜倉敷南RC＞

国際ロータリー第2690地区パストガバナー

松 本 祐 二

＜益田西RC＞

国際ロータリー第2690地区ガバナーノミニー

古 瀬 俱 之

＜出雲中央RC＞

国際ロータリー第2690地区代表幹事

廣 本 孝 良

＜倉敷南RC＞

第3グループガバナー補佐

中 村 寿 夫

＜松江RC＞

第4グループガバナー補佐

岩 永 邦 夫

＜大社RC＞

第5グループガバナー補佐

波多野 諭

＜大田RC＞

次期第3グループガバナー補佐

古 志 勝 俊

＜松江南RC＞

次期第4グループガバナー補佐

土井豆 勝 磨

＜出雲南RC＞

次期第5グループガバナー補佐

砂 田 忠

＜江津RC＞



登録者名簿

第3グループ

松江ロータリークラブ〈68名〉

青木 範人	石飛 博正	井戸内 義文	乾 隆 明
井上 晴夫	伊原 正人	今井 直樹	上 定 昭 仁
内田 寛	内海 康生	大山 慎介	大 野 光 徳
尾崎 正史	尾崎 俊也	小村 光寛	加 島 幸 夫
勝谷 哲也	勝部 晋彦	勝部 治政	川 内 孝 治
川上 裕治	紀野 典彦	河原 八郎	後 藤 勇
小林 淳一	小林 祥泰	櫻井 誠己	佐 藤 明
佐藤 尚士	信太 秀夫	杉原 有	杉 原 秀 範
妹尾 雅雄	田江 泰彦	竹岡 ゆかり	立 石 仁 司
谷口 博則	谷口 正人	辻 謙次	内 藤 守
長岡 憲夫	中島 治美	長野 真久	永 通 烈 志
中村 寿夫	錦織 伸行	西村 康	泰 公 平
波多野 秀明	服部 泰直	原 守中	原 田 光 明
廣江 潤	福田 正明	藤井 裕一	藤 本 敬 二 郎
舟越 隆明	古瀬 誠之	細田 重雄	堀 井 輝 彦
堀江 貴一	楨戸 孝隆	榊井 隆行	松 井 裕 幸
望戸 圭一	森岡 隆行	矢野 仁	和 田 昇 司

松江東ロータリークラブ〈34名〉

赤木 利光	石原 武秀	石本 郁	井原 友一
大多和 聡宏	柿丸 薫	勝部 裕	勝 部 亮
門脇 秀夫	金津 任紀	金森 允美	鐘 築 一 雄
川上 大	清原 良治	小竹原 榮吉	佐 藤 哲 也
佐藤 陽一	寿山 勉	須藤 健司	関 根 雅 彦
高木 秀人	友田 公二	永瀬 公男	林 利 宜
福島 伸光	福田 誠	藤原 勝	松 嶋 永 治
宮内 厚	弥勒院 琢磨	森田 雅之	矢 田 和 弘
山川 博司	米田 則雄		

松江南ロータリークラブ〈46名〉

石川 茂夫	石丸 文男	井上 賢一	大野 敏之
小村 明弘	勝俣 政信	門永 侯二	門 脇 末 子
川島 諭	紀川 純三	木村 太一	木 村 靖



楠 信 也	古 志 勝 俊	越 野 司 朗	坂 本 知 三
鷗 鷯 順	白 根 侑 哉	新 宮 正 朗	妹 尾 典 子
高 松 伸 広	田 中 正 彦	寺 本 健 太 郎	中 澤 強
永 島 一 雄	永 安 重 治	野々村 健 造	原 田 慎 一
原 寿 雄	福 田 龍 太	藤 原 秀 博	堀 浩 太 郎
又 賀 航 一	松 崎 貴 行	三 浦 隆	皆 美 佳 邦
宮 田 宗 一	持 田 裕 子	安 来 賢 吉	山 口 章
山 下 裕 國	山 根 拓	山 端 豪	山 本 広 之
劉 麗 茹	和久本 光		

松江しんじ湖ロータリークラブ〈20名〉

池 淵 英 明	石 倉 貞 昭	貴 谷 麻 以	久保田 一 朗
久保田 和 代	小 塚 隆 訓	小 林 幹 久	澤 田 淳 二
高 橋 雄 一 郎	内 藤 允 宏	中 村 寿 男	長谷川 逸 子
原 稔	平 野 勝 己	又 賀 敬 子	森 山 輝 也
山 本 真 司	若 佐 博 之	石 碕 修 二	小 草 牧 子

隠岐西郷ロータリークラブ〈5名〉

横 地 龍 男	前 川 昌 昭	室 崎 隆 司	由 木 順
三 代 尚 晃			

第4グループ

平田ロータリークラブ〈19名〉

河 原 治 子	原 泰 久	飯 塚 詔 夫	釜 屋 治 男
清 原 正 幸	黒 田 昌 弘	來 間 久	久 家 正 義
楨 野 良 文	持 田 稔 樹	小 汀 泰 之	大 島 卓 爾
佐々木 哲 也	曾 田 敏 康	杉 原 朋 之	高 砂 明 弘
土 江 光 二	恒 松 克 己	山 口 弥	

出雲ロータリークラブ〈30名〉

小豆澤 貴 洋	江 角 彰 宣	遠 藤 充 子	藤 野 有 弘
福 間 正 純	日 野 実	日 野 友 晴	石 原 一 徳
伊 藤 信 二	勝 部 一 郎	嘉 藤 充	菊 地 恵 介
北 尾 慶 子	小 阪 真 二	松 井 修 一	御 船 善 弘
内 藤 輝 一	中 山 真 美	永 島 弘 明	成 相 善 美
西 村 武 也	那 須 康 弘	小 野 恵 司	須 佐 建 央
佐 藤 誠 一	下 手 公 壱	杉 浦 弘 明	武 志 俊 太 郎
豊 田 元 哉	渡 部 孝		



出雲中央ロータリークラブ〈24名〉

阿 川 嘉 明	荒 木 光 治	朝 山 裕	古 瀬 俱 之
花 田 志 信	日 野 幹 雄	堀 江 卓 史	池 淵 俊 雄
石 橋 尚 子	石 橋 慶 一	伊 藤 浩	岸 篤 彦
北 脇 樹 二	児 玉 治	永 田 数 子	迫 田 健 司
佐 藤 勝 博	塩 野 和 正	鳥屋尾 恭 一	鳥屋尾 征 幹
内 田 政 智	山 口 孝 之	山 根 一 生	山 代 裕 始

出雲南ロータリークラブ〈33名〉

浅 津 和 人	儀 満 秀 明	秦 正	林 不 動
樋 野 圭衣子	伊 藤 和 之	龜 谷 清	金 山 利 行
勝 部 径 司	勝 部 祐 治	楨 野 安 浩	三 島 一 男
三 代 和 鑑	水 谷 厚 志	持 田 隆 治	森 山 育 子
小 川 敬	小 川 哲 治	大 國 行 雄	小 村 尚 子
佐々木 昭 文	佐 藤 大 樹	塩 野 裕 士	高 橋 扶 治 夫
高 橋 信 治	竹 下 尚 子	田 中 充	東 儀 君 子
土井豆 勝 磨	山 田 隆 三	山 田 朋 由	山 本 祥 二
山 根 茂			

大社ロータリークラブ〈23名〉

岩 永 邦 夫	加 藤 幹 夫	小 川 美 樹	野 村 広 子
石 田 晴 吾	石 部 厚 夫	岩 成 健 治	大 隅 正 弘
岡 良 美	小 田 基 明	北 島 清 秀	木 村 健 治
木 村 昌 夫	多久和 利 紀	田 邊 達 也	鶴 見 純 平
長 岡 昭 洋	成 相 智 久	西 尾 崇	廣 澤 努
福 間 邦 夫	室 家 隆 一	渡 部 稔	

第5グループ

江津ロータリークラブ〈34名〉

岡 田 久 樹	和木田 登	藤 田 武 利	山 崎 一 成
森 脇 祐之助	永 井 良 三	本 藤 繁 夫	寺 下 衛
室 谷 卓 治	森 口 裕 行	青 木 史 郎	砂 田 忠 博
藤 代 美 友	高 田 圭 介	石 橋 孝 義	和 原 勝 二
尾 前 豊	原 諭	佐々木 啓 之	柿 本 礼 二
佐 多 宗	伊 藤 誠 二	小 川 泰 道	藤 田 和 雄
久保田 泰 介	三 上 貴 子	佐々木 一 成	森 下 幸 生
山 藤 志 哲	平 下 智 隆	押 越 奈津紀	室 崎 拡 勝
増 田 敏 弘	宮 津 秀 行		



浜田ロータリークラブ〈58名〉

茶 円 宥 勝	近 重	勉	江 木 修 二	江 口 伸 吾
布 野 裕 二	濱 松	巧	濱 崎 修 司	畑 岡 匡
樋 山 陽 介	本 多 保 昭	明	螺 山 郁 繁	伊 原 憲 吾
今 井 久 晴	井 上 公 明		岩 元 正 一	岩 谷 百合雄
柏 村 英 男	河 田 邦 美		木 戸 淳 夫	小松原 和 也
久保田 英 治	倉 本 給 都		桑 本 達 夫	前 田 幸 子
松 村 哲 也	松 尾 明		宮 田 弘 二	森 口 仁 一
森 須 正 孝	中 野 智 隆		新 田 浩 二	則 皮 周 寛
岡 田 亘 弘	岡 田 昭 二		大 石 和 弘	大 崎 良 二
齋 藤 寛 治	佐々木 弘 泰		佐々木 護 夫	佐々木 山 達 好
佐 和 洋 亮	柴 田 英 彦		島 田 康 綾 子	杉 山 野 和 博
須 山 隆	高 橋 功 一		高 岩 綾 子	高 浦 田 明 彦
寺 井 龍 也	土 田 好 明		鶴 田 英 博	浦 田 直 之
山口 博 正	矢 口 伸 二		彌 重	米 田 直 之
吉 田 稔	吉 本 晃 司			

益田ロータリークラブ〈18名〉

青 木 久仁子	青 木 正 美	廣 兼 重 孝	市 原 浩
岩 本 誠	久 城 恵 治	増 野 泰 樹	松 本 結 衣
右 田 明	森 本 恭 史	村 木 繁 司	永 島 一 忠
岡 田 淳	佐々井 智恵子	田 原 裕	高 橋 和 男
田 上 尚 志	矢 富 邦 久		

益田西ロータリークラブ〈21名〉

廣 瀬 雄一郎	岩 原 伸 治	木 村 正 典	栗 本 正 美
松 倉 慎 治	松 本 浩 二	松 本 祐 二	村 上 誠 一
能 地 茂 男	尾 木 啓 次	大 畑 勉	大 谷 さなゑ
齋 藤 寿 章	佐々木 真 孝	澁 谷 勝	須 藤 秀 民
須 山 鈴 治	田 原 精 一	田 儀 政 司	高 橋 伴 典
寺 戸 俊 幸			

大田ロータリークラブ〈28名〉

吾 郷 浩 之	天 崎 美智子	波多野 諭	石 田 真知子
金 田 慶 三	川 上 眞 次	幸 増 浩一郎	的 場 章 好
松 葉 昌 修	宮 本 一 成	永 野 雅 博	中 村 文 香
小 川 和 邦	岡 本 久美子	大 澤 優 彦	佐 伯 博 傳
齊 藤 寛	坂 根 修	曾 我 好 春	田 平 隆 篤
田 平 律 夫	竹 村 一 秀	棚 岡 正 人	谷 本 隆 臣
田 原 辰 男	土 屋 実 範	恒 松 勝	山 下 正 一

領 収 証

2018年 2月18日

様

¥ 8,000

但し、2017-18年度RI第2690地区
第3・第4・第5グループ合同IM登録料

上記正に領収いたしました

大田ロータリークラブ

幹 事 田 平

篤



貴クラブ会員出席報告

御芳名

御芳名

所属クラブ名

本日、2017-18年度RI第2690地区 第3・第4・第5グループ合同IMに出席されたことを報告いたします。

2018年 2月18日

大田ロータリークラブ

幹 事 田 平

篤

本日は、ご参加いただき誠に有難うございました。ご出席の通知は、お送りするのが本位ですが、お手数ながら各自ご記入の上、処理くださいますようお願い申し上げます。



ロータリーソング

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー

手に手つないで

1. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ
一つ心に おゝロータリアン
おゝロータリアン
2. 手に手つないで つくる友の輪
輪に輪つないで つくる友垣
手に手 輪に輪 ひろがれ まわれ
世界と共に おゝロータリアン
おゝロータリアン

